

110 学年度第一学期 Eurasia 基金会国際講座

「アジア共同体：東アジア学の構築と変容」系列講次(9)

講題：日本台湾交流協会と今日の日台関係

中国文化大学 110 学年度 Eurasia 基金会国際講座第 9 回は、日本台湾交流協会の村嶋郁代新聞文化部部長による「日本台湾交流協会と今日の日台関係」である。村嶋部長は豊富な経歴の持ち主で、中国での留学経験の他にも、アメリカ・エール大学修士課程で学んだ。2003 年に日本の外務省に入省し、国際情報部門、アジア大洋州局中国モンゴル第二課、アジア大洋州局地域政策課、総合外交政策局宇宙室、上海総領事館、日本台湾交流協会台北事務所等の多部門を歩んできた。村嶋部長は自らの多彩な経歴を語って、来場の教員、学生を大いに啓発してくれた。以下は村嶋部長の講座内容を摘録したものである。

総合外交政策局宇宙室の経歴

村嶋部長は宇宙の重要性を強調し、一般の人は宇宙がわれわれの日常生活と関係がないと思っているが、本当は密接に関係しているのだという。人工衛星を取り上げ、もし将来国家間で戦争が起きて、一方が他方の衛星を打ち落とし、衛星を使えなくすれば、容易に勝つことができる。そのため衛星を保護することは外交政策の重大な問題だという。

村嶋部長から学生への質問と期待

村嶋部長は次のように質問した。現在学生たちが卒業後に何をやりたいのかをよく考えているか。未来の日台関係はどうか。自分の未来はどうすれば発展するのか。こうした問題は大学生にとって重要な人生の課題である。村嶋部長は Steve Jobs の言葉《I was lucky - I found what I loved to do early in life.》を引用して、学生たちが自分の未来の方向を見出せるよう激励した。

外交官の仕事

1952 年に日台国交が正常化し、日本大使館が設置された。1972 年国交断交により、交流協会が設立された。協会は東京本部、台北事務所、高雄事務所の三個所に分かれ、より多くの日台国民が「知台家」（日本関連業務）、「知日家」（台湾交流業務）となることを目指している。村嶋部長は数値を示して、日台間の良好な関係を説明した。例えば、台湾人の日本人への印象を例に、台湾人の最も行きたい国は日本で 59%、70% が日本に親しみを感じ、日本へ旅行に行きたいと思っている人は 90% にも上る。それに対して、日本人の台湾への印象はどうか。78%

が台湾に親しみを感じ、現在の日台関係が良好だと思っている人は75%、台湾を信頼するのが63%である。

日台間の交流

日本と台湾を往来する人の立場はさまざまで、留学生、長期出張者、ワーキングホリデー、教育、旅行等々。さらに日台間の姉妹都市の締結があり、民間の交流はとても活発に行われている。経済貿易の面でも、今年は台湾の半導体会社台積電が日本への直接投資を発表し、日本政府も全面的に協力することは日台友好関係の最もよい証左である。

10年前の311大地震で、日本が台湾から受けた義援金は世界一の約200億円で、日本人は今でも台湾の日本支援を忘れていない。新型コロナの感染が爆発した時に台湾は日本にマスクを送った。また日本からはAZワクチンの返礼があった。こうした国家間のやり取りこそ日台関係の良好の証しである。台日の姉妹都市とメディアには「日台友情101点灯」「友情のワクチン」「台湾パイナップル」「圓山大飯店台LOVE日点灯」「東京オリンピックがんばれ台湾」等のフレーズが現われ、このような各種の友好関係はいたるところで見ることができた。

学生の質問

村嶋部長は講演終了後、比較的多くの時間を学生との交流に費やした。学生からは次のような質問が出た。「正式な国交のない日本と台湾でできないことは何か、できることは何か？」村嶋部長「人と人の感情はやはり最も重要で、日本人は台湾が好きだから、国交の有無で関係の良し悪しを考えるのではなく、実際の日台間の心の交流を見る必要がある」。

学生「講演中に提示した日本の台湾への信頼度が63%というの低いのではないか？」これに対し、村嶋部長は「言論NP02019」の数字を用い、中国と比較すれば台湾の63%が相対的に高いことを説明した。

最後の学生の質問「放射能汚染した食品に対し、交流協会は何を行なっているのか？」村嶋部長は「汚染食品」という字句自体に問題がある、メディアの報道も科学に基づいて判断せずに、レッテルを貼っていると指摘する。日本人は「汚染食品」と聞くと悲しくなる。なぜなら日本人は毎日食べても、何ら問題なく、韓国も日本の食料を禁止していないからだ。日本は実際に計測した数値を公開しており、それらは交流協会のホームページで見ることができる。

(Web サイト: <https://eurasia.pccu.edu.tw/index.php>)

(撰稿: 黄金堂・日文系副教授)

(日本語訳: 塚本善也・日文系副教授)